

7
月号

いっしん

令和元年(2019年)

第414号

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市

加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 /FAX 020-4665-5653

Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

神心
我の心と
なして後
人の心も
なよてやむべき
甘本親教会
初代教会長
安武松太郎師神教

甘木親教会 布教115年 記念大祭 令和元年 10月26日・27日



布教記念祭日のご神前

御扉は戦前の加治木教会のもの、戦後加治木教会は閉鎖され、一時鹿児島教会に預けられていた。



布教当初の教会



現在の教会一
(東側より)

加治木教会 布教六十八年 布教記念祭

仕えられる

六月一日(土)加治木教会では、布教記念祭が仕えられました。

矢野政美大人が、昭和二十六年六月十八日に加治木の町に再布教されたから六十八年を迎えさせていただきます。

戦前、大正九年に平島只助先生がご布教され、昭和六年に奥様房代姫を亡くされ、昭和十九年には平島只助先生もご帰幽になられ、戦後ついに教会も途絶えていました。

薩摩の国に伝えられる「薩摩義士」という、江戸幕府による木曾川の堤防普請を完成させるまでに犠牲になった薩摩藩士たちのことですが、難工事で多くの普請従事者が犠牲になったからこそ、今日までも称えられ祀り続けられています。

まさにそのように、加治木の町にお道が根付き布教の礎が築かれるまで「捨て石」とも「人柱」とも言うことのできる、犠牲がはらわれていくようなものであります。(次頁へ)

加治木教会布教記念祭…P1~3 立教160年記念信奉者集会 実行委員会…P4~5
信徒部教区委員会に出席させていただいて…P6~P7 教会行事…P8

加治木という土地は、それほゞ、よそ者や違う価値観を受け容れることのできない文化や傾向のある土地柄で、よほどの信念がある者しか道を根付かせることができない土地柄だったのでしよう。

平島先生ご夫妻が犠牲になられ、再度布教に当たられた、誠実な真面目さでは人後に落ちることのないほどの矢野政美大人ご夫妻も、布教三年目には「食うつ食わんつじゃなかったバイ、食わんつ食わんつじゃったバイ」と言い残されたような状況に陥られたのです。

そうして布教を断念し、転地布教を甘木親教会親先生に願い出られたのです。

しかし、親教会に参拝して親先生にお伺いすると「転地布教というようなことはできない、一応引き揚げて」というお言葉で、そのあと実家で母堂クラ刀自から「あんたが商売



平島房代姫 (昭和3年) 平島忠助大人 (婚礼時)

何かであれば、ここでは思うように行かないから、他の所に代わるといふこともよからうが、お道の御用というものはその様なものではなからうと思う。あんたは甘木を出る時、加治木の土になしていただくという決心で行ったのではなかったのですか。その決心はどうしました。加治木で打って鳴らぬ太鼓は、どこで打っても鳴りません。

それを鳴らそうと思えば、太鼓のバチが折れるまで、皮が破けるまで打たせていただけば、必ず鳴ります。あんたが一生かかって道が開けんでも良いではないね。あんたが死んだのち、後をついでくださる人が継ぎやすいようにしておけば、それで良いではないね」と、泪ながらに励まして下さいました。

実の親でありながら「あんたが死んだのち、後をついでくださる人が継ぎやすいようにしておけば、それで良いではないね」とはよく言えたものでありますが、クラ刀自には息子に「死んでよい」という思いでは

なく「親神様の御立場に立った信心」という確かな信念があったからそう言えたのでしよう。

いわば「ご神慮」を布教の苦勞に喘いでいる息子よりも深く悟られておられたからでありましよう。



晩年の矢野クラ刀自と、仁吉郎翁

クラ刀自三十三才の時の、医師も匙を投げた大患の折、初代安武松太郎先生は「これからが本当の一心というものじゃ」と「天地金乃親神様のご恩に報いる信心」になることをうながされ「親神様の御立場立った



安武松太郎大人

でも、揺るがない、微動だにしない信心にならせたかった

信心「いわば、ご神慮を求め、ご神慮中心とした信心に変わって行かれたのです。」
そうして、何か事のあるときには、事の向こうにある深い神様のご愛情・深い親心・将来のためのお計らいを確信することができる、心眼とさえ言える確かなご信心や信念を自身の心に養い培われたのです。
だからこそ、布教の苦勞に喘いでいる息子に対して、確信的な信念があったからこそ「加治木で打って鳴らぬ太鼓は、どこで打っても鳴りません。それを鳴らそうと思えば、太鼓のバチが折れるまで、皮が破けるまで打たせていただけは、必ず鳴ります。」と言えたのであります。
「ご神慮に添う信心」「親神様の御立場に立った信心」にお育てを頂いて、どんな大変な問題や事に当た

ものです。
「神様はけっして無駄事はなされない」ことを知り、常に「神様を絶対に信じ、絶対に敬い、真実の喜びを奉る」ことのできるような信心に成長する、信心の稽古を進めて行きたいものです。
加治木教会の布教の原点には「ご神慮に添う信心」「親神様の御立場に立った信心」になることの大切さが示され、心の眼の開き方、決心と覚悟を決める時に必要な視点が伝えられていると言えます。(教話要旨)



矢野政美夫人 (S61)



平島只助大人・房代姫の奥津城を改修し現奥津城に(H12)



平島房代姫ご帰幽(S6)にて建てられた奥津城建立当時の写真

鹿児島地方教会連合会 主催
 立教一六〇年記念 信奉者研修会
第三回 実行委員会 開かれる

六月十九日(水)加治木教会において、連合会主催「立教百六十年記念 信奉者集会」(七月七日開催)の、最後の実行委員会が開かれました。

県下の各教会から、教師六名、信徒八名が集い、開催前一ヶ月を切っているため、最後の計画書をはじめ役割や準備品の確認が綿密になされました。

加治木教会からも教師一名と信徒三名が出席しました。

当日のスタッフは、会場が地元である加治木教会の教師・信徒一同が積極的に御用を担うことが求められます。

遠方から出席される皆さんが「ありがたい、尊い研修会でした」と感じられるよう、真心を込めて御用に当たらせていただきます。



加治木教会

天地金乃神御大祭

講話(中)

四月二十一日(日)

加治木教会の天地金乃神御大祭、講師の吉田幸一先生(熊本県隈庄くまのしょう教会長)による講話の要旨を三回に分けて掲載させていただきます。

◆◆◆◆◆



くまのしょう 隈庄教会長 吉田幸一先生

中学生になりますと、陸上部の部活をしながら、土・日は太宰府天満宮のポリースカウトに行き、日程が合うと教会に行くというようなことでした。

お祖母ちゃんから「こんど教会で畳み上げがあるから手伝いにきてくれんね」と言われて行っていました。

すると信者さん達から「フーツ、力があるね!」とか言われるのです。すると調子に乗って運ぶようなことでした。

教会では褒められることばかりでした。

しかし、家では、末っ子の私が褒められるようなことがあると、兄たちから見ると好ましく感じないようなこともあるようでした。

そのため、兄から、私の大きな耳のことを「象の耳」と言われたり、口の上のホク口を指して「鼻クソが付いとるぞ!」とからかわれることがありました。

しかし、教会に行くとき信者さんから「あなたの耳は福耳バイ、お金が貯まるバイ」とか「口の周りにホク口があるとか喰いっぱくれをせん、よか所にホク口がある」と良い方についてくれ褒められるのです。

そうして、教会のキャンプやピクニックや山登り、そして全国大会参拝と、お祖母ちゃんに旅費を出してもらって参拝していました。

今になって思うと、少ない年金をそのためにだけ使っていたのではな

いかと思います。

しかし、お祖母ちゃんは教会参拝などについて、何の条件も付けませんでした。「良い子にならんといけんよ」とか「お役に立たんといけんよ」とか「素直になりなさいよ」とか一切言いませんでした。

私たちが教会や御本部に参拝することだけが、お祖母ちゃんの幸せであつたようです。

高校生になった頃、少年少女会連合本部で訓育制度が始まり、二日市教会もモデル教会となりまして、小学生のバードメイト隊、中学生のシユニアメイト隊を調べて活動を行う、訓育制度の試行が行われました。

そこでは、子どもたちに対し、親との間に立って、歌やゲームや、計画したカリキュラムを直接指導する、セカンドネストリーダーをさせていただきますました。

そのため、御本部での指導者研究会や研修所・実修所に入って、指導の意味合いや技能を勉強させていただき、とても嬉しかったことを覚えていきます。

そうして、教会でも「祈誓」「信条」

「綱領」などのテーマをもとに指導の御用に取り組みさせていただきました。

そうしているうちにへ子どもたちに、ゲームを教えて楽しませるために、親たちは教会にお参りさせているのではない、少年少女会活動は信心を土台にして、信心を伝えないといけない、そうならば、リーダーである私に伝えることができる確かな信心があるのか? ということが問題となってきました。



やがて、大学に入るとラグビー部に入って練習に励んでいましたが、指導者研修所などのお手伝いや御用奉仕をさせていただいているとへも

う少し真剣に御用をさせていただきたい」という思いになり、ラグビー部を辞めました。

大学四年生の頃、お道の教師になるということも考えていた時、アルバイト先のすぐ前の仲良くなった果物屋さん、以前に三井教会に参拝されたことがあり、その方が「金光教は良いもんね、あんた教師に向いているよ」とか、大学のゼミの先生が久原教会の信者さんで「あんたの親に私が言つてやろうか」とまで言われるのです。

しかし「自分のことですから自分で親に伝えます」と言い、親に伝えることにしました。

すると、理解してくれまして「兄弟三人おるから、一人はお道の教師にならせてもらっていい」と言ってくれました。

(つづく)

南九州教区 信徒部教区委員会

に参加させていただいて
上田和也

六月十五日(土)・十六日(日)、大分県安芸(あき)教会において、南九州教区信徒部教区委員会が開かれ、鹿児島地方教会連合会からは、入木田 豊さん(大口教会)・内門三朗さん(鹿児島教会)と私の、三名で出席させていただきました。

以前の予定では、国東教会に参拝させていただくことになっていましたが、諸事情で今回は、同じ国東半島にある安岐(あき)教会に参拝させていただき、教区委員会が開かれました。

教区委員会には、教務センターから中村清一先生(小林教会)・大分北部連合会長の石松継彦先生(耶馬溪教会)長が出席され、南九州の各県から十一名の委員が出席者し、講話と議事についての話し合いがありました。

講話では、中村清一先生の体験談を聴かせていただき、議事は、六月九日にご霊地で開催された「立教一



六〇年全国信徒会第二回全国大会in金光」、あいよかけよ誌(全国信徒会機関紙)の増部、取組表の積極的な取り組み、教団墓地構想などでした。

安岐教会の周りは自然豊かな所で、山と海に囲まれた場所でした。海産物が豊富な土地で、近くには磨崖仏や石像が多く遺る所でした。

今回の教区委員会では、初めて質問をさせていただきました。勉強と経験を重ねて良い発言できるように精進させていたいただきたいと思えます。

安岐教会の長木先生ご夫妻は、会食の時なども親しく声をおかけ下さり、両日にわたり大変世話になりました。





信徒部教区委員会
(6/15・16)
大分県 安芸教会にて



あしあと 加治木教会行事記録

6月

1 (土) ●報徳月例祭10時半 併せて
加治木教会布教六十八年記念祭

5 (水) 6 (木) 教区 教師研修会
9 (日) 御本部教団独立記念祭
※教師補任式

10 (月) 清掃御用 10時

11 (火) ●月例祭 生神堂 大神様 10時半

15 (土) 16 (日) 青年ひろば(鹿児島教会)

19 (水) (連)160実行委員会(加治木)

21 (金) 清掃御用 10時

22 (土) ●月例祭・共励会 13時半

26 (水) 27 (木) 甘木親教会 教師婦人部会

29 (土) 清掃御用 10時

30 (日) 上半期感謝祭 10時半

少年少女全国大会に向け7月末まで
まごころ運動

に取り組みましょう。
平和の折りづる

※古切手・古カード
えんぴつ(新)
を集めます。

▼換金後、海外の売れない子どもたちへ送られます。

使用済み切手収集についてのお願い

●お願い●

- *切手ははがさないで、以下の要領で切り取ってください。
- *切手の周囲を5mm程度あけて切り取ってください。
- *枚数を明記してお届けください。
- *外国切手や台紙からはがした切手がある場合は別にしてお届けください。

はるみ一本でできる運動

七月のご霊神様のおまじない

川畑祐義 之霊神(7日)平成17年
中野 繁 之霊神(9日)昭和54年
大山ちあき之霊神(12日)平成13年
村上淑子 之霊神(13日)昭和52年
福山悦子 之霊神(13日)平成2年
津上基次郎之霊神(18日)昭和31年
徳永フヂエ 之霊神(18日)平成29年
金竹重利 之霊神(19日)昭和60年
山本豊子 之霊神(19日)昭和3年
上田スギ 之霊神(19日)平成21年
福元三次郎 之霊神(20日)昭和33年
須藤禮子 之霊神(22日)平成18年
庄村袈裟助 之霊神(23日)昭和20年
平地政男 之霊神(25日)昭和21年
前田ツネ 之霊神(27日)昭和60年

立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。

七月七日(日) 十時半
鹿児島地方教会連合会主催
立教一六〇年記念信奉者研修会

七月十七日(水)

甘木親教会

祈願祭 参拝

出発 午前七時半 帰着 午後七時頃

夏季信行期間

七月十五日(二十五日)
祈願祭奉迎信行

↓ 念 研修
ご祈 5:15
10:00

七月一日(三十一日)
全国信徒会
合同取組み 信行取組表

おかげを蒙らせていただきましょう。

七月二十八日(日) 午前十一時より

加治木教会 前日御用奉仕

祈願祭 奉仕

講師 多良木教会長 梅木博光先生
〔祭典後、教話・直会。〕

祈願祭(関係教会)

七月六日(土) 多良木教会 十一時

七月二十七日(土) 人吉教会 十一時

教会行事

7月

- 1 (月) ●報徳月例祭 10時半
- 3 (水) 親教会参拝日(参拝未定)
- 7 (日) (連) 160 信奉者集会(加音ホル)
- 9 (水) 清掃御用 10時
- 10 (木) ●月例祭 10時半
- 13 (土) 少年少女会 10時半
- 16 (火) 甘木親教会 教師研修会
- 17 (水) ●甘木親教会 祈願祭
- 21 (日) 清掃御用 10時
- 22 (月) ●月例祭 10時半
- 24 (水) さつま会(連合会 婦人教師会) 10時半
- 27 (土) 御用奉仕
- 28 (日) ●加治木教会 祈願祭 11時
- 31 (木) 清掃御用 10時

八月三日(土)~五日(月)
少年少女全国大会 参拝
出発(三)日 午前八時 帰着(五)日 午後七時半頃
旅費(未)定 交通機関(未)定 宿泊(未)定

8月

- 1 (木) ●報徳月例祭 10時半
- 3 (土) 少年少女全国大会 出発
- 4 (日) 少年少女全国大会 当日
- 5 (月) 少年少女全国大会 帰着
- 9 (金) 清掃御用 10時
- 10 (土) ●月例祭(生神金光 併せて 大神様) 聖祭 10時半
- 16 (金) 甘木親教会 婦人教師会
- 18 (日) 連夏のつどい 10時半
- 21 (水) 清掃御用 10時
- 22 (木) ●月例祭(天地金 乃神様) 共励会 13時半
- 31 (土) 清掃御用 10時

鹿児島地方教会連合会主催

夏のつどい
とき 8/18 10:30~

ところ: 川内市 防災研修センター

ないよう: 防災のおべんきょう
夏休みのおべんきょう
ハチドリ工作!

※くわしくは、まもなく
おしらせします。